

九州タクシー無線

一般社団法人 九州タクシー無線協会
〒860-0805 熊本市中央区桜町2番17号
TEL 096-353-3916 FAX 096-288-1260

簡素化した通常総会を継続 2年連続で小規模・熊本開催

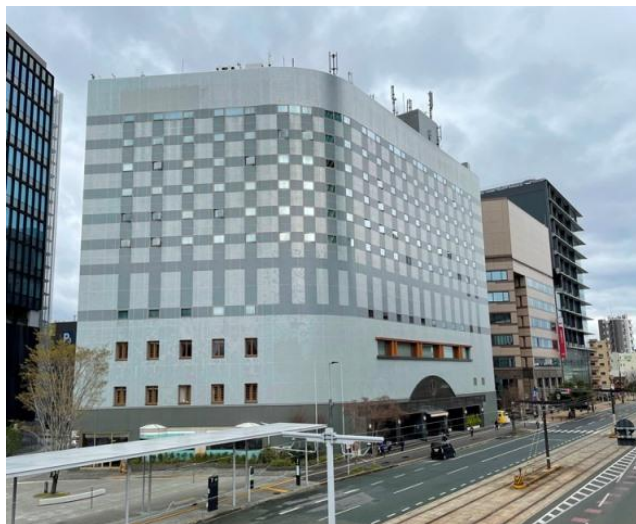
昨年秋ごろからウィズコロナで経済活動を元に戻していこうという政策が執られ、マスク着用の見直しをはじめ旅行支援の再開や入国制限の撤廃など規制が緩和されてきました。

観光・移動・外食等のニーズが戻りつつあることから、タクシー需要についても増加傾向にはありますが、業界全体を襲う深刻な乗務員不足やロシアのウクライナ侵攻による燃料費高騰という課題に直面しており、コロナ禍前の状態に戻るにはしばらくかかりそうです。

このような中で開催する当無線協会の第62回（令和5年度）通常総会については、これまでの総会及び理事会で確認してきました経費削減措置方針（総会は当分の間、熊本市において必要最小限の規模・内容で開催する）に基づき、前年度に引き続き規模縮小・簡素化して次の要領で開催します。

- (1) 開催日：令和5年6月16日（金）
- (2) 開催場所：ザ・ニューホテル熊本
- (3) 総会規模：総数16名程度
- (4) 来賓への案内及び賛助会員への出席要請は行わない
- (5) 総会後の懇親会及び翌日の親善ゴルフは実施しない

当無線協会の経費削減のため規模を縮小した通常総会となりますので、役員のみのお出席が予想されます。総会にお出席されない会員様におかれましては、委任状の提出にご協力をお願い申し上げます。



ザ・ニューホテル熊本（熊本市）

令和4年度第3回理事会を開催

令和5年度の事業計画案・予算案を議決

3月24日、当無線協会の令和4年度第3回理事会が熊本市で開催されました。会議の冒頭、稲葉会長が挨拶に立ち「通常総会は今後も少人数・簡素化でやっていくという方針は変わらないけれども、一部から懇親会を望む意見もいただいています。勉強会を含めた懇親会（会費は参加者負担）で、フェイスツーフェイスでいろいろな情報交換ができる機会をつくれなにかと思っています。また、九州総合通信局長のアドバイスによる TSMC（台湾の半導体メーカー）を迎え入れるための取り組みは、多言語音声翻訳無料アプリ VoiceTora の活用を軸に熊本商工会議所から県知事や市長まで巻き込んで広がりました。さらに熊本空港も全面リニューアルするなど基盤も整ってきましたので、いよいよ九州全体が盛り上がっていくことを期待しています」と述べられました。

続いて、下記の議事について審議がなされ、採決の結果、いずれの議案も満場で議決・承認・確認されました。なお、会議の出席状況は、理事 18 名中 12 名、監事 2 名中 2 名でした。

- (1) 令和5年度事業計画(案)について <次期通常総会提案議案>
- (2) 令和5年度収支予算(案)について <次期通常総会提案議案>
- (3) その他
 - ① 通信技術セミナー及び全国専務理事会議(全自無連)の報告について
 - ② 今後の会議予定等について

理事会では、(3) その他の議事に関連して意見交換がなされました。

【出された主な意見（抜粋）】

- ・ 地域自営 IoT 無線システムの実用化の見込みはあるのか。
- ・ 当社の自営無線も更新期を迎えつつあるが、運転手不足という中で、無線システムにできるだけ金をかけたくない。
- ・ これからはインターネットの時代。無線で安価のみを追い求めるのは如何なものか。タクシー無線もネットにつなげるのが当たり前の時代。
- ・ 将来はアプリ会社が料金に関して実権をもつようになる気がする。
- ・ 当社でも配車アプリを導入しているがアプリ利用は僅かであるのが実態（熊本市）。まだまだ無線配車での運用が主。今後とも配車アプリが占めてしまうようにはならないだろう。
- ・ 配車アプリ利用が増えているのは事実（福岡市）。アプリを止めるのは時代の流れから見て無理。無線配車のための人件費を削ってその分を配車アプリの手数料に回すようになるのではないかと。無線配車は今後も減少するだろう。
- ・ 無線のあり方をきちんと考えていかないと配車アプリによって無線自体がすっぽりと抜け落ちてしまうような事態に陥るのではないかと。

全自無連の通信技術セミナー 配車アプリ依存は公共交通とは言えない（高野会長）

全自無連（全国自動車無線連合会）は、3月16日に通信技術セミナーを東京の自動車会館で開催しました。

冒頭、高野会長は「乗務員不足もあり、東京では配車アプリを使わないと電話ではタクシーが来てくれない現象も生じている。スマホがうまく使えない、配車アプリが使えない高齢者などは交通弱者になっている。誰でも乗れるのがタクシーのはずだが、これでは公共交通機関とは言えなくなる。手数料の料金設定にしてもアプリ会社の言うままになっている。強気なアプリ会社は、いやならやめてもいいですよという姿勢。乗務員不足が続く中でアプリ依存は弊害を生じさせている。公共交通機関であるからには、災害時の命綱でもある無線配車も重要である」と挨拶されました。

セミナーでは、岡崎専務理事が「地域自営 IoT 無線システムの導入に向けた調査研究」と題して、令和4年度に愛知県日進市で行った実証試験を中心に報告を行いました。

続いて、総務省の中村移動通信課長が「移動通信政策の動向」について、①5Gやローカル5Gの現状、②Beyond5G（6G）に向けた取組、③自営系無線の高度化等の取組について講演されました。

翌17日は全国専務理事会議が開催され、「令和5年度事業計画及び予算案」「組織課題（自営タクシー無線の対策等）」について、活発な意見交換が行われました。

当無線協会から古家専務理事が参加しました。



総務省の中村移動通信課長

無線局廃止届の提出をお忘れなく！

廃車やIP無線への移行などで、自営無線局を使用しなくなった場合は、遅滞なく無線局の廃止届を当無線協会へご提出ください。

提出されないと、毎年6月1日（無線局免許応答日）に総務省から電波利用料が請求されますので、遅くとも5月末までに提出する必要があります。

※ 廃止届の様式が必要な方は、本部事務局までお問合せください。

令和5年度無線従事者養成講習会

令和5年4月～令和6年3月の無線従事者（第3級陸上特殊無線技士）養成講習会の計画は下表のとおりです。

受講希望の方は、(公財)日本無線協会九州支部（電話 096-325-1384）に詳細を問い合わせのうえ申し込んでください。

月	福岡市	北九州市	佐賀市	長崎市	熊本市	大分市	宮崎市 ※都城市	鹿児島市
4月	21日(金)		26日(水)					18日(火)
5月		11日(木)		18日(木)	26日(金)			
6月	29日(木)							15日(木)
7月	28日(金)					4日(火)		
8月	29日(火)							17日(木)
9月	20日(水)				27日(水)		5日(火)	
10月		18日(水)	13日(金)					5日(木)
11月	14日(火)			8日(水)				
12月	15日(金)					7日(木)	12日(火)	19日(火)
1月	11日(木)				26日(金)			
2月	13日(火)						※3日(土)	
3月								5日(火)

・開催場所

福岡市：福岡商工会議所／北九州市：毎日西部会館／佐賀市：佐賀県教育会館／長崎市：長崎県勤労福祉会館／熊本市：熊本市国際交流会館／大分市：大分商工会議所／宮崎市：宮崎県農協会館 AZM／都城市：都城歯科医師会館／鹿児島市：鹿児島県市町村自治会館(3/5は鹿児島県老人福祉会館)

・受講費用 22,650円(受講料、免許証取得費用、消費税等を含む)

会議予定等

- ◆ 4月12日(水) 監事による監査(無線協会事務局)
- ◆ 4月26日(水) 正副会長会議及び令和5年度第1回理事会(熊本市)

編集後記

支部事務局業務の本部への移管は、令和4年度までに5支部で完了しましたが、皆様のご協力により特段の問題もなく順調に推移しています。また、令和5年4月から施行する大分、宮崎の両支部事務局との業務引継も無事終了しました(写真は宮崎支部との引継ぎ模様)。当該支部の会員におかれましては、ご不明な点などございましたら遠慮なく本部事務局までお問合せいただきますようお願い申し上げます。【事務局】



会報は当無線協会の Web サイト(<https://kyumukyo.sakura.ne.jp/>)からもご覧いただけます